

こ たし がくりよく はぐく  
**子どもたちの「確かな学力」を育むために**

れいわ ねんどくるめしがくりよく せいかつじったいちようさ けっか し  
**令和4年度久留米市学力・生活実態調査の結果のお知らせ**

れいわ ねん がつ くるめしきょういっくいんかい  
 令和4年7月 久留米市教育委員会

がつかつ 4月14日(木)に久留米市立小学校の2・3・4年生の児童を対象に実施した「学力・生活実態調査」の結果をお知らせします。ご報告する結果と課題については、測定できた学力等の一部ではありますが、確かな学力を育む上で大変重要なものです。

また、裏面には、「生活実態調査(生活習慣・学習習慣に関するアンケート調査)」の結果をもとに、久留米市の児童の現状と課題を示しています。保護者のみなさまへのお願ひもありませんのでご確認ください。

なお、お子様個人の結果については、学校から配布される個人票をごらんください。



がくりよくへん  
**学力編**

れいわ ねんどがくりよくじったいちようさ けっか  
**【令和4年度学力実態調査の結果】**

学年	2年		3年		4年	
教科	国語	算数	国語	算数	国語	算数
久留米市の平均正答率(%)	78.4	77.7	64.8	72.1	66.1	71.4
全国の平均正答率(%)	79.5	78.0	67.1	73.9	68.0	73.1

※問題は前学年の内容です。(例…2年生の問題は1年生の内容)

けっか  
**【結果】**

- 国語・算数とも、すべての学年において平均正答率が全国の平均正答率を下回りました。
- 国語・算数とも、「基礎」よりも「活用」、「知識・技能」よりも「思考力・判断力・表現力」を問う問題において課題が見られました。

【今後の取組】 ※特に課題が見られた問題から、以下のような取組を進めていきます。

**国語** → 「書くこと」における問題に課題が見られました。特に作文問題では無解答率(何も答えなかった児童の割合)が高い傾向がありました。学校では、文章を書く場面において、「事実等を書く」「(自分の考えを)論理的に書く」「(関係をとらえ)考えを整理して書く」活動に取り組んでいきます。

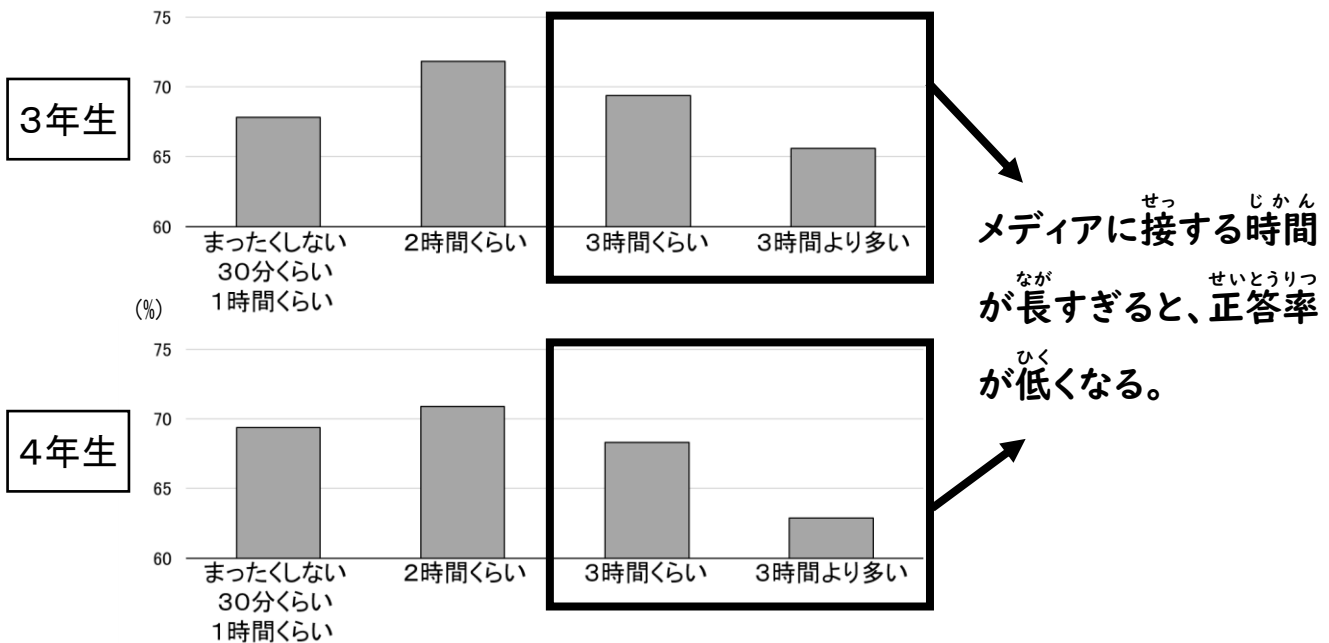
**算数** → 学年によって、「図形」や「データの活用」の問題に課題が見られました。今後は、具体物を使った操作的・作業的な活動を取り入れるなどの取組を通して理解を深めていきます。

【生活実態調査(生活習慣・学習習慣に関するアンケート調査)の結果から】

「平日(月～金)は、1日にどれくらいテレビや動画を見たり、インターネットを使ったり、ゲームをしたりしますか。」

※2年生にはこの質問はありませんでした。

1日あたりのメディアに接する時間別に見た正答率



メディアに接する時間が長すぎると、正答率が低くなる。

「平日に1日あたりどれくらいメディアに接しているか」の回答別に正答率(今回の調査の国語と算数の平均)を表したのが上のグラフです。3年生、4年生ともに「3時間くらい・3時間より多」と答えた子どもの正答率が低くなっています。メディアに接する時間をコントロールできなくなると、学習時間はもちろん、睡眠時間まで少なくなり、学習面、健康面に影響が出てきます。子どもたち自身に自分の生活をコントロールする力をつけていきたいものです。そのような力が、高学年や中学生になった時に家庭学習を自分で計画し、ねばり強く学習に取り組むことにつながっていきます。

### ご家庭へのお願い

お子様の学力を伸ばしたり保ったりするためには、ご家庭での生活習慣と学習習慣づくりが基盤になります。これからも、以下のことに、学校と協力しながら取り組んでいただきますようお願いいたします。

- 1 スマートフォンやゲームについては、ルールを決めましょう。
- 2 時間と場所を決めて、宿題などの家庭学習に取り組むようにしましょう。
- 3 家庭学習の様子を見て、取り組む姿をほめる言葉をたくさんかけましょう。

